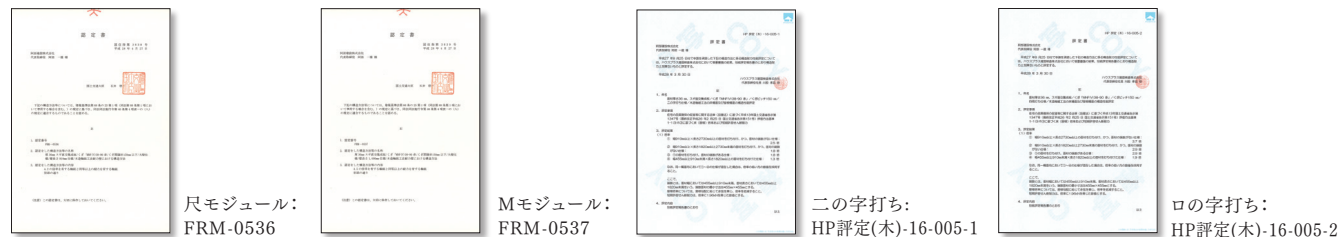


3 認定・評定を取得

> 新築・リフォーム

「壁倍率」において、尺モジュール・Mモジュールの各仕様の国土交通大臣認定を取得。
「床倍率」において、性能評価機関[ハウスプラス確認検査(株)]の構造性能評定を取得。



4 施工は簡単! 特殊な工具は不要

> 新築・リフォーム

特殊な工具・金物・施工などは必要としません。実証検証を踏まえた設計・施工マニュアルをご用意していますので、地域を問わずどこでも認定・評定通りの施工が可能です*。

※本製品の設計・施工・監理は、Aパネ工法普及協議会が開催する設計施工技術者研修会、もしくは、これに準ずる設計施工指導を受けた、設計者及び施工者が行ってください。



5 市区町村の耐震改修補助金を利用可

> リフォーム

リフォーム時は、壁倍率を取得しているため、耐震改修の補助金を利用することができます*。間柱を必要とせず、既存の土壁等はそのままで、土台・柱・梁一枚張りで施工ができるため、解体範囲も最小限で済みます。また、床の下地兼仕上げ材として使えば、一枚張りでスギ板フローリングが仕上がると同時に、水平構面の強度も上がり、コストダウン・耐震性能の向上につながります。

※申請時には、各市町村の窓口にて必ず事前確認を行ってください。



Aパネ工法普及協議会
— 木造在来軸組+CLT —

TEL:058-370-1884 FAX:058-370-2277
Eメール: apane-clt@houscrum.co.jp URL: www.apane-clt.com

〈事務局・販売元〉
後藤木材株式会社

〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ4-21
TEL:058-370-1884 FAX:058-370-2277

〈製造元〉
Woodist. 山任木材株式会社

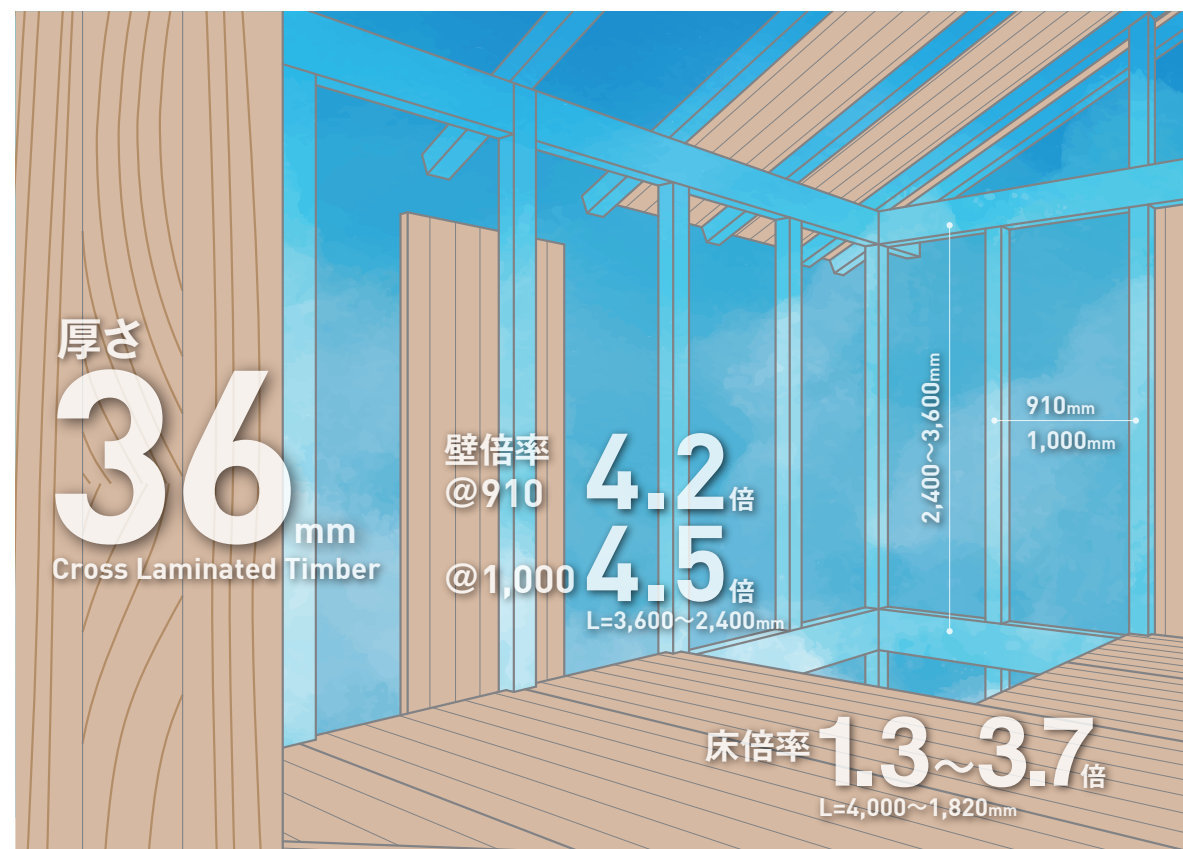
〒893-1206 鹿児島県肝属郡肝付町前田2090
TEL:0994-31-4141 FAX:0994-31-4142

*「Aパネ工法」は阿部建設株式会社の登録商標です。また各種認定・評定は阿部建設株式会社に属しています。

*「Aパネ工法」は、林野庁の平成27年度森林整備加速化・林業再生事業「CLT等新製品・新技術の実証・展示加速化対策」の助成を受けて開発されました。

木造在来軸組+CLT Aパネ工法®

国土交通大臣認定「壁倍率」取得
性能評価機関構造性能評定「床倍率」取得



Aパネ工法普及協議会

木造在来軸組 + 直交集成板CLT

Cross Laminated Timber

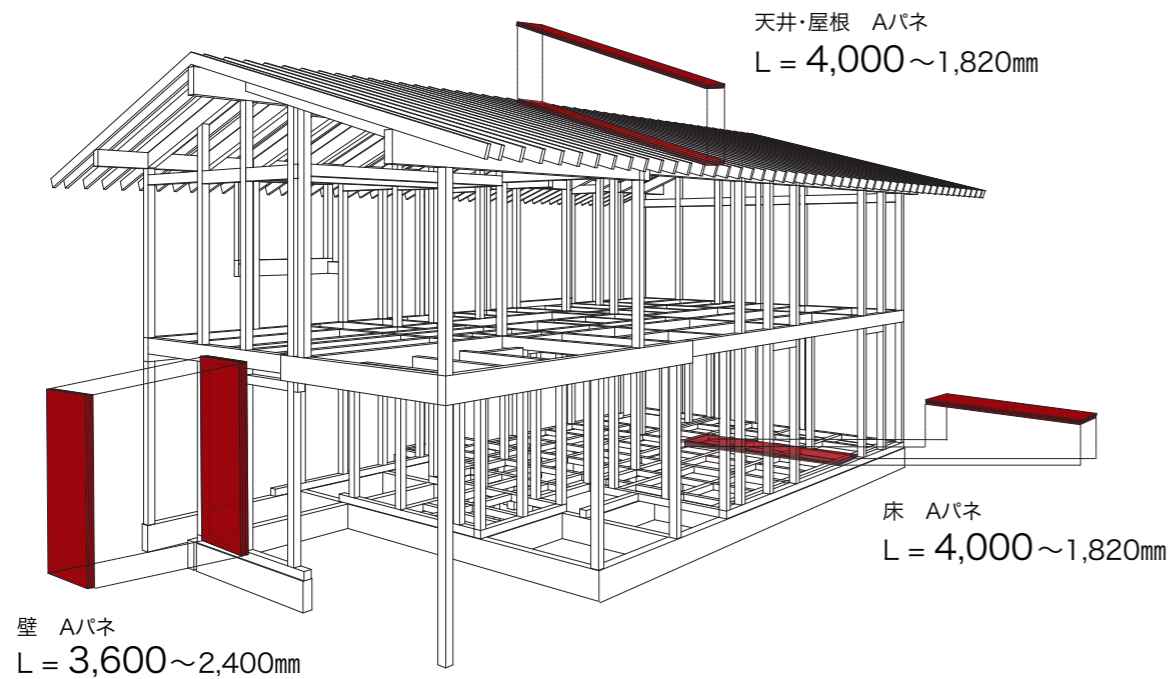


住宅から施設建築、リフォームまで。
木造建築において、幅広い用途に利用でき汎用性のあるAパネ工法は、新たな木造の在り方を提案する工法です。

新築にも!リフォームにも! Aパネ工法とは?

大判の直交集成板CLTのうち、山佐木材株式会社が定める品質規格に適合した厚さ36mmのスギ板「Aパネ」を木造在来軸組の構造用面材として利用した、日本初*の工法です。厚さ36mmのCLTは取り回しも良く、壁は3,600mm、床・天井・屋根(水平構面)は4,000mmの長さのパネルを一枚張り施工できることが特徴です。

※JASを取得したCLTでは初めて、壁倍率の国土交通大臣認定・床倍率の性能評価機関構造性能認定を取得しました。



1 床・壁・天井・屋根にAパネを利用

> 新築・リフォーム

床・壁・天井・屋根にAパネを施工することで、高強度な建物が実現します。また、スギの板目の特長を生かした「あらかし仕上げ」も可能です。特に仕上げを必要としない建物においては、「下地(Aパネ)施工 = 仕上げ施工」となり工期短縮やコストダウンなども期待できます。床・壁・天井・屋根のどの箇所においても、留め付け方・釘ピッチは同一です。

Aパネとは?

山佐木材株式会社が定める品質規格に適合し、かつ直交集成板の日本農林規格(JAS)材とした厚さ36mmのスギ直交集成板です。



2 広い認定・評定範囲、高耐力をもつ

> 新築・リフォーム

耐力壁・水平構面ともに広い認定・評定範囲と高耐力をもち、住宅規模にとどまらず、小〜中大規模建築においても有用な仕様になっています。耐力壁は最大3,600mm、水平構面は最大4,000mmのパネルを一枚張りすることができ、継ぎ目のない大判パネルの特徴を生かしたスピーディーな施工が可能となります。また、耐力壁の箇所を最小限に抑えることができ、壁の少ない大空間・大開口をつくりだすことができます。



耐力壁

認定範囲

■「Aパネ」を使用した耐力壁の壁倍率

モジュール	新築【壁倍率】	改修【壁基準耐力(Fw(kN/m))】
M	4.5倍	8.82kN/m ※
R	4.2倍	8.23kN/m ※

※壁倍率より算定 (1m当たりの耐力)

■耐力壁 仕様一覧

釘配列	仕様	上下横材間内法寸法	壁倍率
外周	Mモジュール	2,295~3,495mm	4.5
	Rモジュール	2,295~3,495mm	4.2
外周・中通り	構造用合板12mm	1,800~2,925mm	4.0
	構造用合板9mm	—	2.5
	片筋かい45mm×90mm	—	2.0
	片筋かい30mm×90mm	—	1.5
—	たすき掛け筋かい45mm×90mm	—	4.0
	たすき掛け筋かい30mm×90mm	—	3.0
外周・中通り	石こうボード12mm	—	0.9
—	木張り壁	—	0.5
—	土塗り壁	—	0.5

水平構面

認定範囲

■「Aパネ」を使用した水平構面の床倍率および許容せん断耐力

釘打ち仕様	床倍率	許容せん断耐力(kN/m)
口の字	3.7倍	7.2kN/m
二の字	2.5倍	4.9kN/m

(長さ2,730mmで割り付けた場合の数値。仕様によって異なる)

■水平構面 仕様一覧

釘配列	仕様	パネル(長辺)	床倍率
口の字	端数無し仕様	2,730~4,000mm	3.7
	標準仕様	1,820~4,000mm	2.9
	最小幅仕様	1,820~4,000mm	1.9
二の字	端数無し仕様	2,730~4,000mm	2.5
	標準仕様	1,820~4,000mm	1.8
	最小幅仕様	1,820~4,000mm	1.3
口の字	構造用合板24mm	~2,000mm	3.0
川の字	構造用合板24mm	~2,000mm	1.2
—	構造用合板12mm	~2,000mm	1.0
—	スギ板12mm	—	0.3
—	火打	—	0.36

耐力要素比較